

1. <施策の概要>

基本理念	安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり	統括課	住民部 国保医療課
基本方針	児童福祉		
施策名	子育て支援(国保医療課)	関連課	健康福祉環境部 子育て支援課
方針・目標等	◆医療費助成による経済的負担の軽減 ◆適正な助成金執行		健康福祉環境部 こまだ保育所
			健康福祉環境部 いけたに保育所
実施内容	◆京都府と精華町の連携による助成金の支給		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	住民一名あたりの医療費助成金額(子育て)	円			扶助費/人口			
②	住民一名あたりの医療費助成金額(子育て)に対する京都府補助金額	円			府補助金/人口			
③								
④								
⑤								
			H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標		-	-	-	-	3,200	3,200
	実績		1,862	2,560	3,652	3,178		
②	目標		-	-	-	-	800	800
	実績		671	681	666	711		
③	目標							
	実績							
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・医療費の助成は、家庭への財政的支援の一環として、京都府と協力し、費用の折半実施と町単独で実施している二種類の地方独自の施策からなる。町が多くの財政的支援を行っているため、町の財政的負担となっている。また、医療保険制度改革などで保険給付などの法律が改正されることに伴う影響を非常に受けやすい側面を持っている。

・平成22年9月診療から小学生を対象としたことで、平成22年度は6か月、平成23年度以降は12か月分を助成することになったことから子育ての助成額が増加している。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・子育て支援事業の一環として、今まで要望が多かった小学校卒業までの入院外医療費の無料化について、平成22年9月診療から引続き継続実施した。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	国保医療課	74,490	103,511	145,904	127,628	157,033	162,374
	子育て支援医療費助成事業	70,949	99,161	140,372	122,254	151,659	157,000
	一般事業 135	46,683	74,287	115,843	95,991	112,746	119,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・京都府と協力して自治体独自の医療費の助成を行うことにより、対象者の経済的負担の軽減や健康の保持と福祉の向上に寄与することができた。
 ・学校管理下等の負傷等に対する給付金が支払われる等場合は法令等を優先するよう関係各方面と協力し、適正な支出に努めた。

5. <施策の今後の方向性>

・少子化による子育て支援策の拡充に伴う医療費助成の増加など、今後も扶助費の増加が見込まれる。
 ・現状維持をしているが、今後、京都府補助金の対象となる助成内容の見直しや、法令等の改正などにより、住民負担が増加・減少する場合には、広報誌や個別案内などにより周知徹底に努める。
 ・法令等に基づく学校管理下等の負傷等に対する給付金と町の助成金の取り扱いをわかりやすくまとめるなどし、関係各方面と協力し、引き続き適正な支出に努める。
 ・医療制度のしくみ等について、町広報誌やホームページ等で広報啓発活動を積極的に行い、引き続き助成金の適正な支出に努める。